



さび鉄構造物 リニューアル工法

(NETIS登録番号：SK-220006-A)

令和7年8月7日
アルファペイント株式会社

Contents

- **さび**の発生と従来型補修の課題
- **さび**除去不要で補修ができる新工法
- **国土交通省**による実証試験で性能確認済
- 亜鉛・アルミ等 **非鉄金属に塗装可能**
- 「**応急措置**」から「**本格防錆**」まで対応可能
- 主な施工実績
- 製品ラインナップ

さびの発生と 従来型補修の課題



赤さびとは

鉄製品が水や空気に触れ、表面が酸化することで発生
放置すると内部までどんどん進行、穴が開いてしまうことも



鉄鉱石(赤さび)



酸素＋鉄
(鉄にとって安定した状態)

還元



酸素を除去

鉄製品





人工的な物質
(鉄にとって不安定な状態)

酸化

安定した状態に戻ろうと、大気より酸素を取り込もうとする。

腐食劣化が招く事故

老朽化した屋上広告塔の骨組み	ポールの根腐れによる倒壊	看板底板が腐食した状態	支持金物が腐食した状態
			

(出典) 国土交通省 https://www.mlit.go.jp/jutakukentiku/build/jutakukentiku_house_tk_000037.html

「特定行政庁からの報告を受けた建築物等の事故の概要」(国土交通省)をもとに東京都市整備局作成。

建築物事故の要因別割合は、H25.4～R4.11に報告のあった168件の内訳

(表：建築部材等の落下事故事例)

発生年月	落下物	事故の状況及び考えられる要因	被害の程度
令和 3年 5月	ダクト	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内プール空調ダクトが落下 ・ダクト吊り金具が腐食により破断 	中等傷1名
令和 2年 1月	庇 (コンクリート製)	<ul style="list-style-type: none"> ・共同住宅エントランス庇が落下 ・庇接合部に錆があり、調査のため天井部分の撤去作業中にアンカーボルトが破断 	死亡1名 重傷1名
平成30年10月	看板	<ul style="list-style-type: none"> ・外壁に設置された看板の一部が落下 ・看板を固定していた釘等が腐食し、強風により落下 	重傷1名
平成30年10月	外壁 (金属製パネル)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築物(9階建て)屋上から、金属製パネルが落下 ・金属製パネルをビス止めする鋼材が腐食し、強風により落下 	死亡1名
平成29年 2月	外壁 (モルタル)	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗外壁の一部が2mの高さから落下 ・外壁の下地が腐食していた可能性 	重傷1名 軽傷1名

出典：東京都市整備局「建築物等の落下事故防止対策」より抜粋 (<https://www.toshiseibi.metro.tokyo.lg.jp/>)

出典：「屋外広告物適正化推進委員会」より抜粋 (https://www.pref.kagoshima.jp/ah10/infra/toshi/okugai/documents/69825_20230203164308-1.pdf)

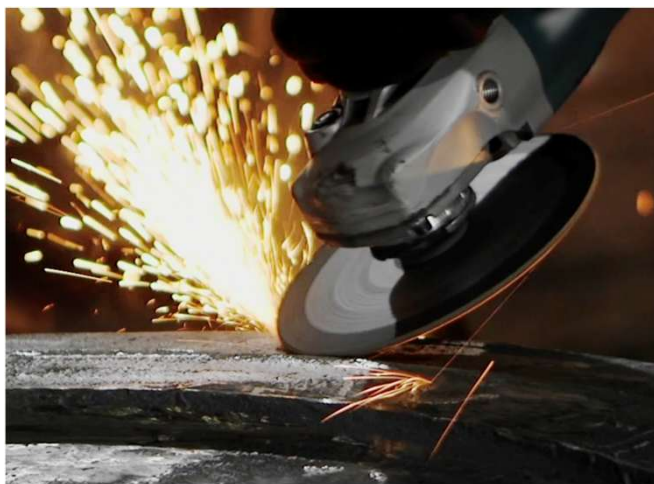
従来型さび止め塗装前の下地調整 ①

完全にさびを落としてから塗装しないとすぐさびが進行。

この下地調整を“正常に”行わないと、
優れた耐久性を持つ高価な塗料を上塗りしても
内部でさびが進行、**直ぐに塗膜剥離に繋がる原因に！**

代表的な下地調整の方法

ブラスト法※¹（左）/ディスクサンダー※²（右）



下地調整不足
による剥がれ※³

「外壁塗装ジャーナル」Webページ引用
<https://protimes.jp/journal/gaihekitosou/clean-89/>

※¹：粒子状の研磨材を投射・衝突させて、表面の粗化/研削/研掃等を行う表面処理方法

※²：回転する円盤にサンドペーパーやカップワイヤーホイールを取り付け研磨する表面処理方法

※³：赤錆は鉄よりも体積が大きく、鉄が錆びる過程で膨張する。この膨張により塗膜の膨れや割れが発生

従来型さび止め塗装前の下地調整 ②

問題点.1 “正常に” さび処理するためには大きな手間とコストが必要

さび処理の基準とコスト

価格は土木施工単価（25-7夏「茨城県」算出）より

種類	作業内容	金額
1種ケレン※	ブラスト法により、さび、旧塗膜を全て除去し鋼材面を露出させる。	7,201円/㎡

（※）ケレンとは、塗装前に汚れやさびを落とす作業

問題点.2 正常なさび処理ができない環境がたくさんある

- 住宅地 （騒音と粉塵の配慮）
- 火気厳禁の場所（火花の飛散）
- 形状が複雑 （電動工具が使用できない）
- 高所や狭隘部 （電動工具が使用できない）

さび除去不要で
補修ができる新工法



「さび処理不要のリニューアル工法」①

さび取りをせず、赤さびに水性強力錆転換剤

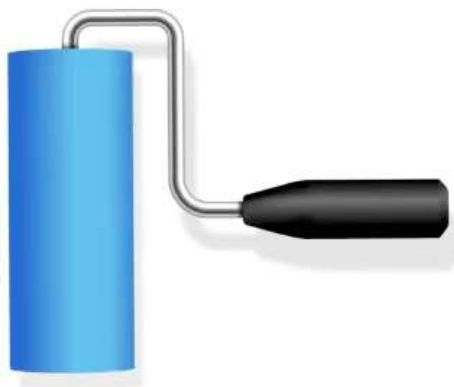
“セレクトコートN300(さびチェンジ)”を直接塗装

➔ 強い結合力と強固な被膜で守られた、安定な黒さびに転換



= 下地調整の負担を軽減

「さび処理不要のリニューアル工法」②



リニューアル工法に必要な下地調整

1. 劣化している旧塗膜や浮きさびは皮スキ等で除去
(浮きさび以外のさび処理は不要)
2. ゴミ、ホコリ等をキレイに除去
3. 油脂類等はシンナー、洗剤等で除去

- 効率的な素地調整には、高圧水洗を推奨
(吐出圧 30MPa以上)
高圧水洗後は、多少湿っていても塗装可能



リニューアル工法に必要なさび処理の基準とコスト

種類	作業内容	金額
3種ケレンA※1 + 4種ケレン※	ブラスト等のさび除去を行わず、浮きさび（層状さび、こぶ状さび）のみを除去し、残置のさびを安定な黒さびに転換することで、錆の不動態被膜化を実現。これにより、化学的除錆と防錆を同時に行う。	1,372円/㎡

(※1) 価格は土木施工単価（25-7夏「茨城県」算出）より

作業の軽減により
従来工法と比べて

5,829円/㎡

コストを削減

国土交通省 による実証試験で 性能確認済



国交省による実証試験（テーマ設定型）

テーマ設定型（技術公募）とは、現場ニーズに基づき、テーマを設定、優れた新技術を公募し、実証試験により各技術の特徴を明確にすることで、工事等の発注にあたって、発注者が新技術を指定/活用を促進する取組み。

実証機関：（一財）土木研究センター ※

試験内容：複合サイクル試験（サイクルD）

要求性能：「**赤さび**に直接塗装できること」
「施工時間が短いこと」
「長期防錆性があること」

（※）試験を行う第三者機関として国土交通省が選定

新技術情報システム
（NETIS）により公開中 →



WG1-4

「テーマ設定型（技術公募）」露出した鉄筋等に対する除錆・防錆技術

【背景】	道路橋やカルバート等の定期点検において露出した鉄筋の錆を除去し、再腐食を防止するために防錆剤を塗布するなどの応急措置を行うことが多い。一方で除錆・防錆技術については、民間等において様々な技術が開発されているものの、腐食生成物や腐食因子の除去、鉄筋の再腐食防止など、その性能を比較可能な形で整理されていない。
【目的】	定期点検の実務において応急措置の質を保ちながら効率的に作業を進めることを目的とし、これらの技術を適切に選定するための技術比較表を作成する。

露出鉄筋に対する措置の現状

5.1措置の手順及び方法 ⑨防錆措置

橋梁における第三者被害予防措置要領（案）道路局国道・防災課
（平成28年12月）より

応急措置（叩き落とし作業）の結果、コンクリートが落下した場合は、本格的な補修までの処置として鉄筋の防錆処置を行う。防錆処置としては、錆を落とした後目立たないように灰色の塗装を施すのが一般的である。また、早期に補修の検討を行い恒久的な対策を実施する必要がある。



亜鉛メッキ塗料のスプレー塗布が一般的

画像：NETISサイトより引用

国交省による実証試験（複合サイクル試験）①

屋外暴露とのよりよい相関を求め考案された促進防錆試験

規格：JIS K 5600-7-9

方法：塩水噴霧/乾燥/湿潤（サイクルD）

期間：**360サイクル（3ヶ月）**

確認方法：JIS K 5600-8に準拠

試験片：**さび**鋼板

（**さび**厚 **90 μ m**程度、付着塩分量**360～660mg NaCl/m²**程度）

塗装仕様：

回数	材料名	塗布量	膜厚 (Dry)	備考
1 層目	セレクトコート N300	140g/m ²	34 μ m	養生 1 時間
2 層目	セレクトコート N300	160g/m ²	36 μ m	養生 4 時間
3 層目	セレクトコート E350	270g/m ²	96 μ m	

塩分は水分を保持し、塗膜下で腐食を進行させる原因となる。また、電解質として酸化還元反応を促進し、腐食を加速させるため、塗装前の除去が重要。*







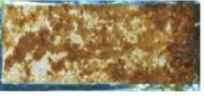








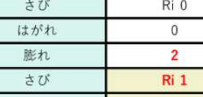
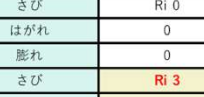
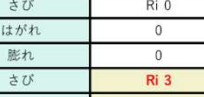
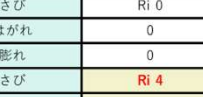
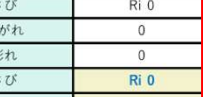
加速度試験は、現実では起こり得ない高湿潤環境と塩水噴霧を前提としており、水性塗料であるN300では本来の耐久性が正しく評価できない。そのため試験時は油性塗料であるE350を併用して行う。

結果：**異常なし（さび・剥がれ・膨れなし）**

（※）鋼道路橋塗装便覧では、許容付着塩分量を100mg/m²以下とする場合が多いと記されている

国交省による実証試験（複合サイクル試験）②

赤錆上に塗装した試験片は加速試験で不合格となった一方、無腐食試験片に塗装したものは一部を除いて合格している。この結果は、赤錆を無効化することが腐食防止において極めて重要であることを示している。

技術名	変性エポスプレーNEXT	アクアシールドスプレー	FeプロトFAS	ケイ酸塩系防錆材	錆面用水性下塗塗料 ルビゴールシステム	セレクトコートさび鉄構造物リニューアル工法
副題	防食性・密着性に優れた2液変性エポキシ樹脂を作業性に優れたエアゾールスプレー化	水系さび止め塗料のエアゾールスプレー	錆転換材入り1液型エポキシ樹脂スプレー	—	錆面浸透・腐食電流抑制形長期防食システム	—
開発者	日新インダストリー株式会社	日新インダストリー株式会社	株式会社セラアンドアース (西日本高速道路の付随関西株式会社)	住友大阪セメント株式会社 (鹿児島大学、株式会社フォージェル)	関西ペイント株式会社	アルファペイント株式会社
共通試験結果	無腐食試験片					
	促進暴露3ヶ月後(360サイクル)					
	さび試験片(a)					
	さび試験片(b)					
	無腐食試験片	さび はがれ 0	さび はがれ 0	さび はがれ 0	さび はがれ 0	さび はがれ 0
	膨れ	2	0	0	0	0
	さび試験片(a)	さび はがれ 0	さび はがれ 0	さび はがれ 0	さび はがれ 0	さび はがれ 0
	膨れ	0	2	1	0	0
	さび試験片(b)	さび はがれ 5	さび はがれ 5	さび はがれ 5	さび はがれ 5	さび はがれ 5
	膨れ	0	0	0	0	0
所見	無腐食、さび試験片ともに異常あり。		無腐食は異常なし。しかし、さび試験片は2枚とも異常あり。		無腐食は異常なし。電動工具による錆処理後のさび試験片は2枚とも異常あり。	

※さび試験片(a)：除錆処理後、さび厚=90μm程度、付着塩分量=360~660mgNaCl/m²程度 → ケイ酸塩系防錆剤のみ、除錆処理後、さび厚=0μm、付着塩分量=260mgNaCl/m²程度
 ※さび試験片(b)：除錆処理後、さび厚=370μm程度、付着塩分量=150~200mgNaCl/m²程度 → ケイ酸塩系防錆剤のみ、除錆処理後、さび厚=0μm、付着塩分量=40~80mgNaCl/m²程度
 ※確認方法 (JIS K 5600-8)に準拠

= 6製品中、最上級の性能を証明 !!

**亜鉛・アルミ等
非鉄金属に塗装可能**

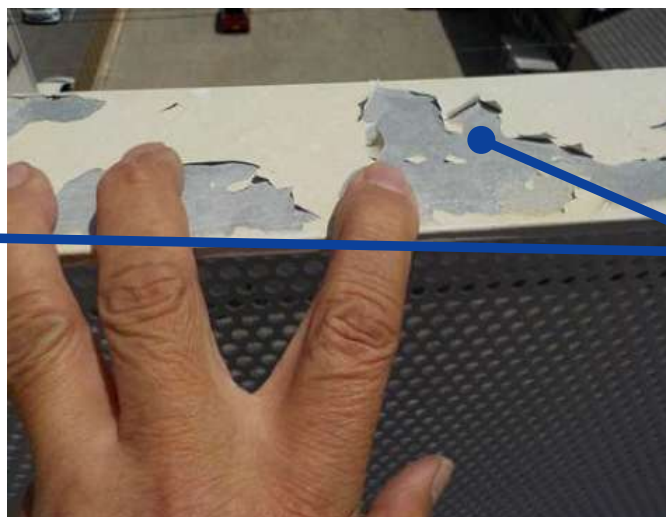
塗料の付着性

付着性とは、塗膜が下地に付着して剥がれにくい性質。
塗膜の耐久性と密接な関係がある。

水性強力錆転換剤“セレクトコートN300(さびチェンジ)”は、
鉄以外（亜鉛、アルミ等の非鉄金属）にも強固な付着性を発揮。

POINT

従来の**さび**止め塗料は、鉄以外の非鉄金属には付着しない。
写真のように素地から「塗膜剥離」が起きる。



左の写真は、**赤さび**のない状態で起きた剥離。

この状態では、金属が外気に直接曝されるため、酸化が促進される。

**「応急措置」から
「本格防錆」まで
対応可能**

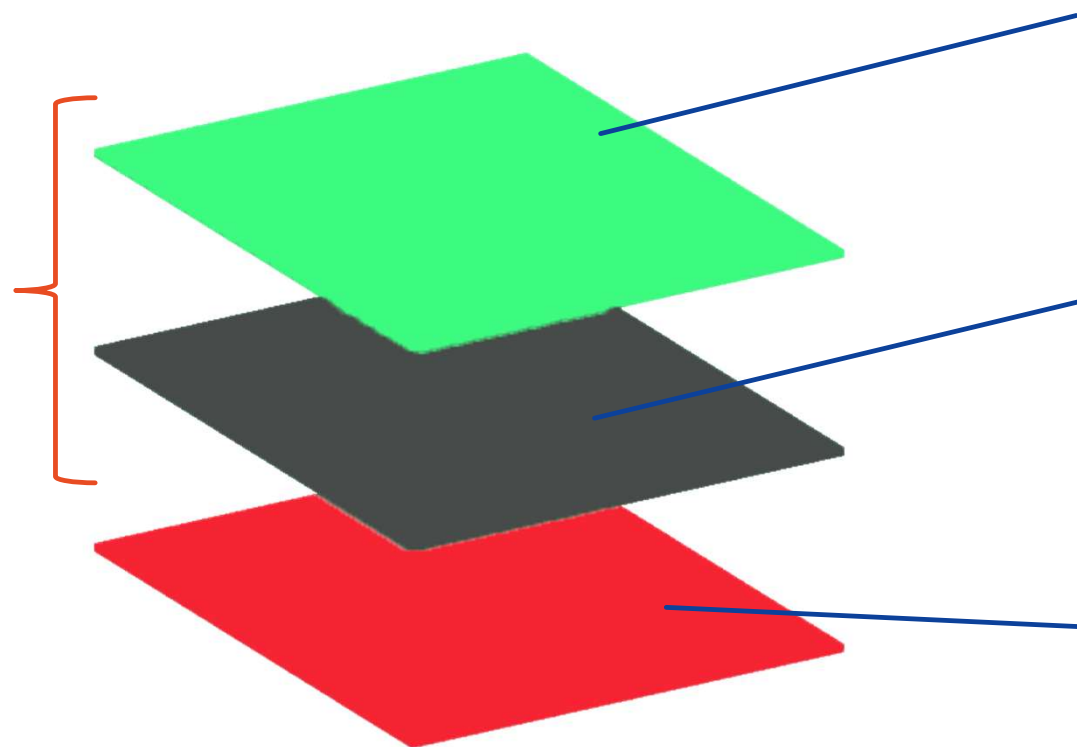


水性強力錆転換剤の塗膜構造

赤さびの表面に水性強力錆転換剤

“セレクトコートN300(さびチェンジ)”を塗装すると、
強固で安定な黒さび層とアクリルシリコン樹脂膜が一体的に形成される。
これにより、さびの発生を強力に防止する。

水性
強力
錆
転換
剤
に
よ
り
形
成



アクリルシリコン樹脂



黒さび



さび転換

素地 (赤さび)



アルファペイント株式会社

用途に応じて塗装仕様の選択が可能

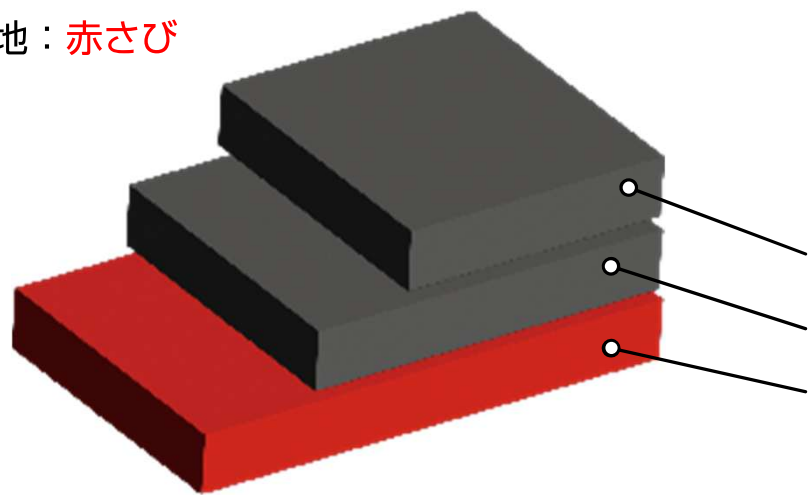
リニューアル工法は、
応急措置に対応した簡易防食仕様と
長期防食に対応した重防食仕様 の選択が可能。

簡易防食仕様

2層目：黒さび転換（N300※）

1層目：黒さび転換（N300※）

素 地：赤さび



（※）製品の品番

重防食仕様

防さび塗料のE350は、N300との相乗効果で強靱な不動態皮膜を形成、赤錆の進行を強力に防止できる

5層目：耐候性塗料（他社製品）

4層目：耐候性塗料（他社製品）

3層目：防さび塗料（E350※）

2層目：黒さび転換（N300※）

1層目：黒さび転換（N300※）

素 地：赤さび

5層目

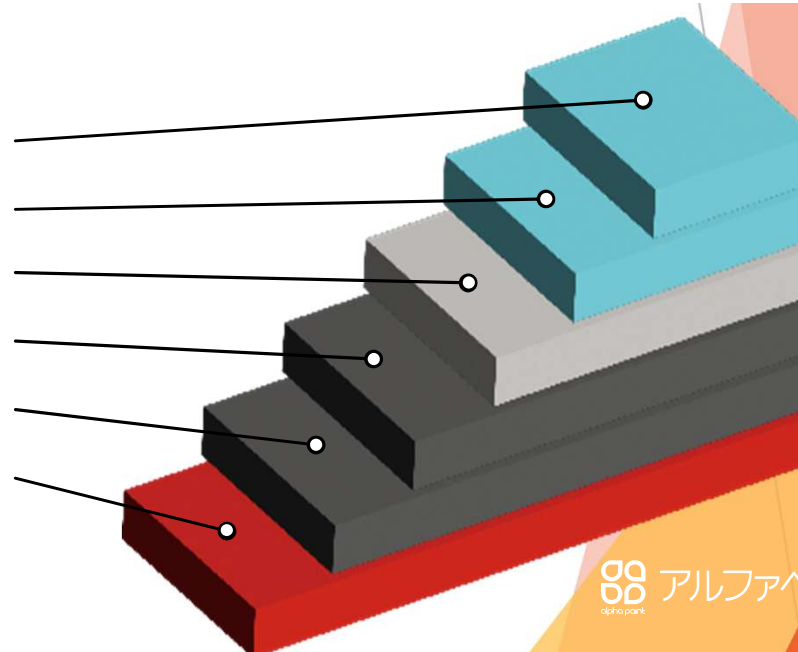
4層目

3層目

2層目

1層目

素 地



主な施工実績



主な実績

公共工事 北海道：（施工年度：2024年11月）市道亀田本町2号線五稜郭駅跨線人道橋橋梁修繕工事
 栃木県：（施工年度：2024年 1月）小山出張所管内橋梁補修維持工事
 埼玉県：（施工年度：2023年11月）春日部国道・浦和出張所管内舗装修繕他工事
 長野県：（施工年度：2024年11月）上信越自動車道 平尾高架橋補修工事
 山梨県：（施工年度：2025年 2月）甲府道路維持工事（尾白川橋）
 山梨県：（施工年度：2024年 9月）小石和市部線 石和南小学校前歩道橋補修工事
 新潟県：（施工年度：2024年10月）関山跨線橋外1修繕工事
 静岡県：（施工年度：2025年 6月）中島下島2号線（3号橋）道路施設修繕（橋梁補修）
 奈良県：（施工年度：2024年11月）橋梁長寿命化修繕事業小阪富本線3号橋他補修設計委託業務
 三重県：（施工年度：2024年12月）東名阪自動車道 揖斐長良川橋鋼橋緊急補修工事
 岡山県：（施工年度：2024年11月）市道御津宇甘19号線谷川橋補修工事
 広島県：（施工年度：2024年 1月）市道北隠地線（下北橋）補修工事
 広島県：（施工年度：2025年 1月）己斐中第二陸橋補修工事
 宮崎県：（施工年度：2024年10月）延岡管内橋梁補修外工事

その他補修工事 近畿日本鉄道株式会社：（施工年度：2024年 1月）中川保線区管内ホーム脚ペイント塗替工事
 （施工年度：2024年10月）山田線 伊勢中原・松ヶ崎間久米下水開渠ペイント塗替工事
 九州旅客鉄道株式会社：（施工年度：2024年 3月）香椎駅構内旅客通路ペイント塗替工事
 （施工年度：2024年 6月）竹下駅構内防音壁補修工事

その他納品実績 防衛省 ：（納品年度：2024年 4月）海上自衛隊（佐世保）
 （納品年度：2024年 6月）海上自衛隊（横須賀）
 （納品年度：2025年 3月）海上自衛隊（大湊）
 （納品年度：2025年 3月）海上自衛隊（八戸）
 海上保安庁 ：（納品年度：2024年 8月）第十一管区

ラインナップ



製品荷姿一覧

人と地球にやさしい水性環境配慮型錆転換剤 (有機溶剤中毒予防規則対象外)

水性シリコンアクリル樹脂塗料
セレクトコートN300 (さびチェンジ)



1kg



16kg

鉛・クロムフリー・トルエン・キシレンフリーで 人と環境に優しい下塗り塗料

弱溶剤型エポキシ樹脂塗料
セレクトコートE350 (パワフルガード)



3.9kgセット
(主剤3.25kg/硬化剤0.65kg)



15kgセット
(主剤12.5kg/硬化剤2.5kg)

問合せ先

会社名 : アルファペイント株式会社
担当部署 : 営業グループ 兼 技術グループ
担当者 : 小林 哲史
住 所 : 東京都品川区南大井4-5-2アルファペイント品川ビル
T E L : 03-6423-1388
F A X : 03-6423-1389
E-MAIL : kobayashi@alphapaint-group.com
U R L : <https://www.alphapaint-group.com>